

EPAハノイ便り

2016年 第1回

日本語能力試験実施!

7月3日、日曜日に2016年第1回日本語能力試験が実施されました。今月号はまずこの試験についてです。

EPA候補者にとって、日本語能力試験はとても大切な試験です。日本へ行くためには、N3の試験に合格しなければなりません。日本語能力試験は年2回行われます。12月にもう一度試験があります。全ての候補者はできれば今回の試験で合格したいと思いい、最後まで諦めずに受験しました。

今回の試験までに、研修所で日本語能力試験模擬試験が何度か行われました。しかし、ほとんどのクラスは、N3レベルの内容にはまだ不足があります。候補者たちの実力が足りないのです。一番上のクラスだけは、絶対に合格しなければならないという圧迫感を全員が持つて受験しました。

試験当日は、先生方が応援に来てくださいました。候補者たちはみんな不安そうな表情です。この試験

7月号

平成28年7月31日

ARCベトナム校発行

を受けるEPA候補者以外の人たちは、なんだかとても頭がよさそうに見えます。でも、先生方がいらっしやったおかげで、候補者たちは勇気づけられ、だんだん雰囲気もよくなってきました。

いよいよ試験が配られました。みんな一所懸命に試験を受けました。問題数も多く、難しい問題もあり



試験前の候補者たち

ましたが、頭が痛くなるくらい集中して試験を受けました。試験は3時間ほどで終了しました。試験が終わり、結果がどうなるかはまだわかりませんが、とにかく終わったことで、みんなホッとした顔をしていました。

試験が終わってから候補者たちは、試験会場の近く



試験が終わりホッと一息の候補者たち

のレストランで先生たちと一緒に食事をしました。みんな緊張が取れ、楽しくおしゃべりをしながら食べ、最後に記念写真を撮りました。

日本語能力試験は12月にも行われます。今回の試験で合格できた候補者はさらに上のレベルの試験を、残念ながら合格できなかった候補者は、もう一度N3レベルの試験を受けることとなります。今回は最後の試験になるので、もっともつと努力をして、全員が日本へ行けるようにがんばります。

(14組 ビン、ティ・チャン、ロアン、ハイン、チュン、

13組 ムイ、10組 ゴック)

社会文化適応研修「七夕」

7月第2週の社会文化適応研修で、日本の「七夕」について勉強しました。

日本の「七夕」は五節句の一つ(他は「端午の節句」など)です。中国から伝わったもので、おりひめとひこぼしが一年に一度会うことができる日です。この日、短冊に願い事を書いて飾れば、それが叶うという言い伝えがあります。

候補者たちは、笹につける飾り物を作ったり、願い事を書いたり、折り紙を折ったりしました。

みんな短冊に願い事を書きました。「日本語能力試験に合格できるように」とか「家族が元気でいられるように」といった願い事が多かったです。

飾り物は吹流しや網飾り、笹にこれをつけた後で、日本の歌「七夕様」を習い、みんなで歌いました。「七夕」の授業はとても楽しかったです。日本の年中行事のことがよくわかりました。みんなの願い事が叶うといいなと思いました。

(14組 フォン、チン、フエン・チャン)



今月号の記事はいかがでしたでしょうか。第1回日本語能力試験も終わり、ちよつと一息です。8月には看護、介護の専門講義が始まります。候補者たちの健康とがんばりを祈りながら。(た)



みんなの願い事が叶いますように